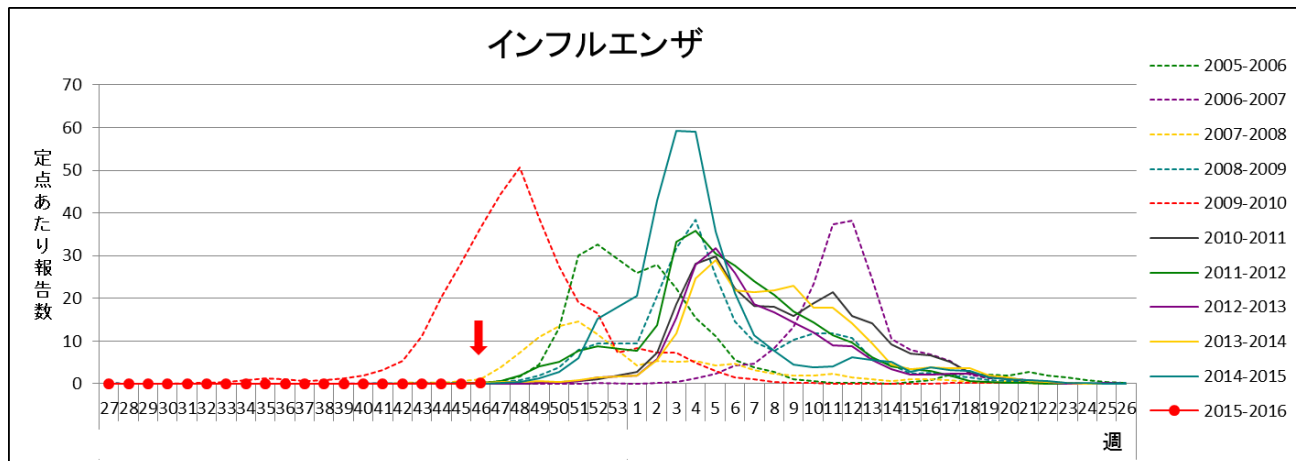


インフルエンザ週報 2015年 第46週 (11月9日～11月15日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で12名の発生がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。



インフルエンザは、備前地域6名、倉敷市4名、備中地域1名、備北地域1名の報告があり、県全体では12名(定点あたり0.02→0.14人)の発生となりました(84定点医療機関報告)。県内の患者発生はまだ散発的ですが、報告数はわずかに増加しています。

第45週全国集計によると、全国の定点あたり報告数は0.13人であり、発生はまだ散発的です。都道府県別では、沖縄県(1.03人)、静岡県(0.35人)、愛知県(0.31人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、すでに全国では集団事例も発生しています。外出後は手洗いを励行し、感染予防を心がけましょう。

[IDWR 速報データ 2015年第45週 \(国立感染症研究所\)](#)

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

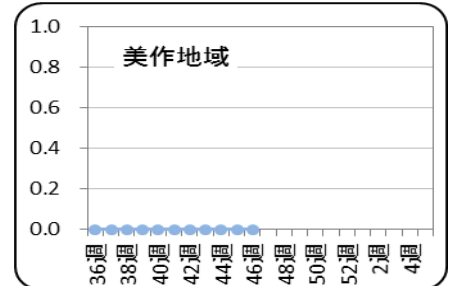
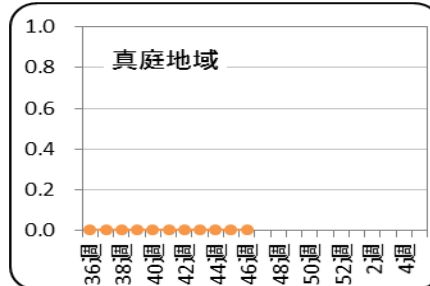
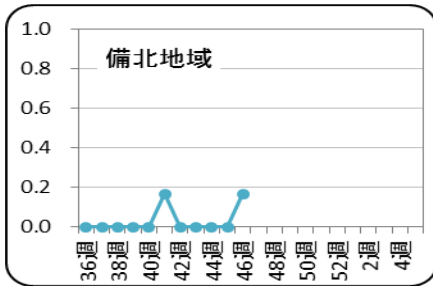
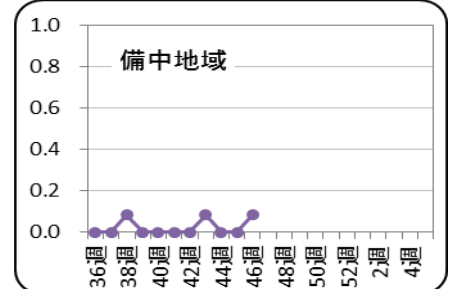
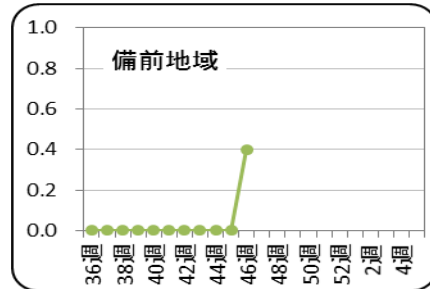
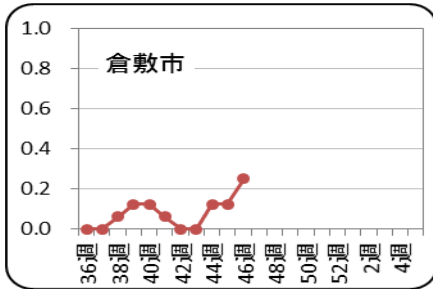
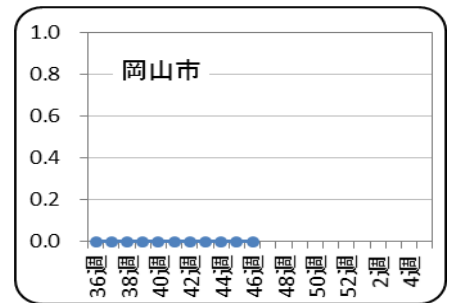
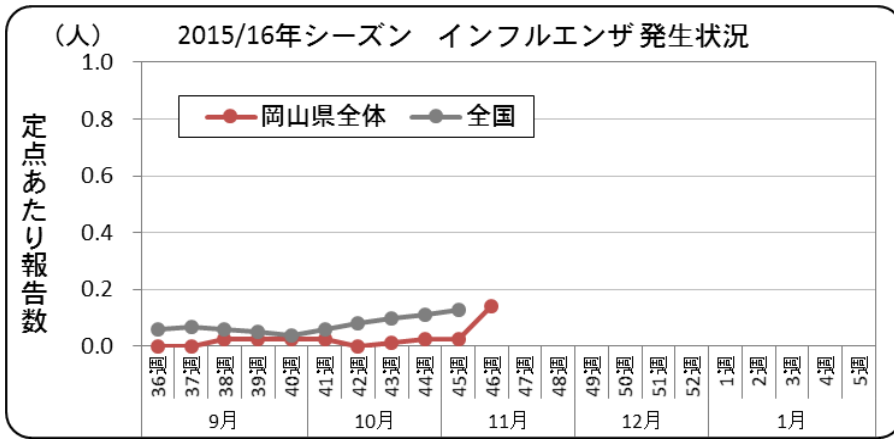
[平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	12	↑	備中	患者数	1	↑
	定点あたり	0.14			定点あたり	0.08	
岡山市	患者数	—	→	備北	患者数	1	↑
	定点あたり	—			定点あたり	0.17	
倉敷市	患者数	4	↑	真庭	患者数	—	→
	定点あたり	0.25			定点あたり	—	
備前	患者数	6	↑	美作	患者数	—	→
	定点あたり	0.40			定点あたり	—	

【記号の説明】 前週からの推移 ↓ : 2倍以上の減少 ↘ : 1.1~2倍未満の減少 → : 1.1未満の増減
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加



2. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

3. インフルエンザウイルス検出状況

第46週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。

4. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、2名（80歳以上）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

◆◆ インフルエンザの予防接種はお早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。

本格的な流行がはじまる **12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。**

予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。

流行するウイルスの型が変わるため、毎年、接種することが望めます。

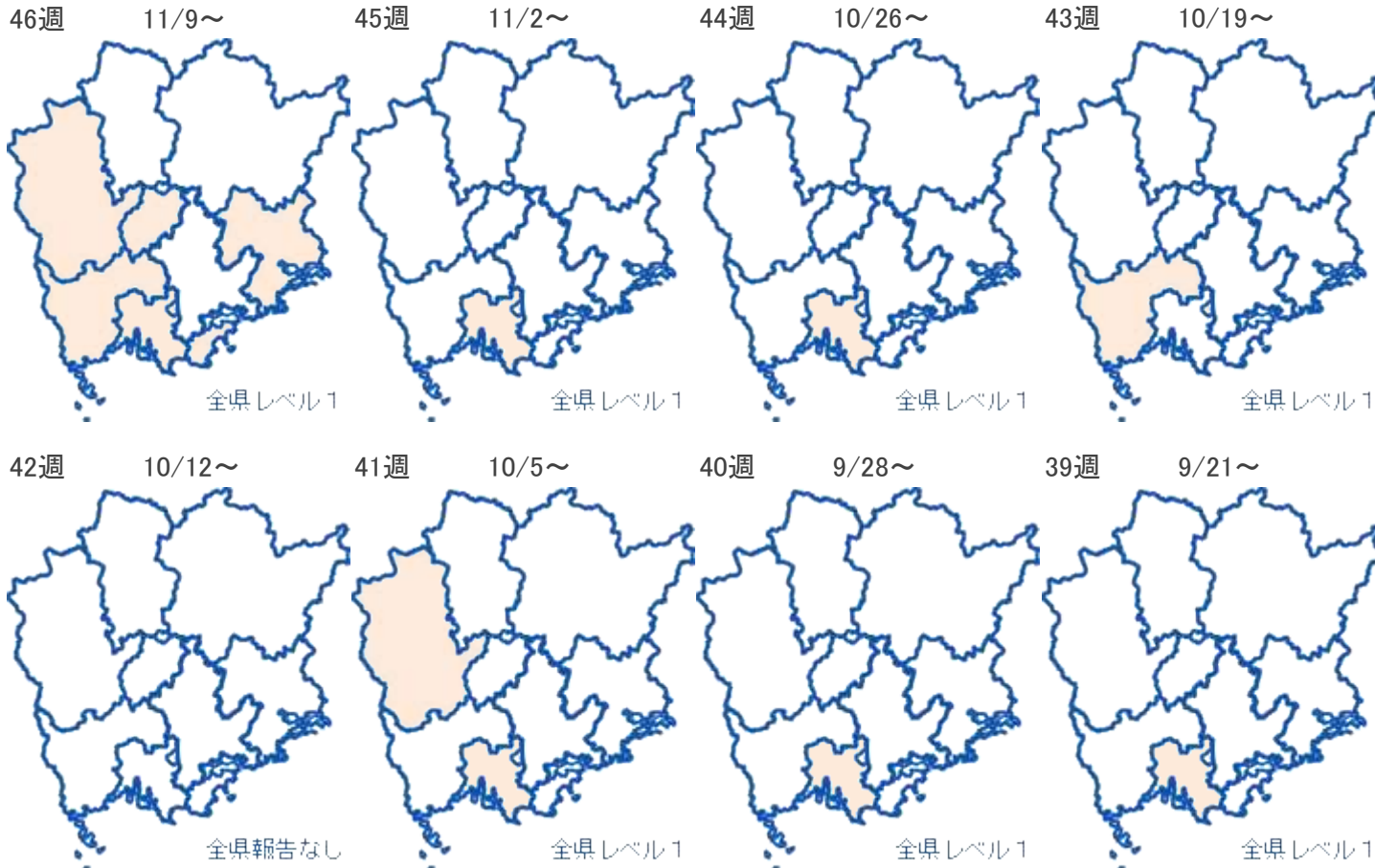
ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2015年 46週

2015年11月18日

10:40:02



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。